

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1		・テイルームは、定員数以上に余裕のあるスペースになっています。園庭や療育に必要なスペースは集団療育・個別療育の療育個性に応じて確保・整備しています。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	1	1	・2名の保育士・児童指導員に加えリハビリ専門職・看護師の配置をおこなっています。また状況に応じて加配職員を配置し、多機能型事業所の中でサポート体制に努めています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	3		・肢体不自由児への配慮と体格に応じたトイレの構造が課題となり福祉用具の活用にも努めています。工夫すべき合理的配慮について検討していきます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	1	1	・療育前には室内のマットや玩具等の消毒を毎回実施しています。療育内容に応じて個室の部屋を利用しています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	4	1	・月に1回は、職員全員での業務会議を設け課題と改善を明確にしている。次年度は送迎・活動などの会議体を設けていきます。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげて事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2	1	・年に一度は、保護者向け評価を実施しその結果の情報共有に努めています。また改善策についての協議検討の会議を設けていきます。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	1	・年に一度は、保護者向け評価を実施しその結果の情報共有に努めています。また改善策についての協議検討の会議を設けています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	1	・第三者による評価については、必要性を十分に実感しておりますが、評価の実施に至っておりません。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2	1	・次年度は、オンラインで参加可能な研修計画を立案いたします。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7			・利用開始前のアセスメントでは、基本情報や発達記録、SM社会評価、カナダ作業遂行測定など客観的な評価スケールと面談でのニーズ把握に努めています。その後カンファレンスをおこない計画立案となります。主に作業療法士、言語聴覚士と保育士で協働し児童発達支援管理責任者が作成および管理していきます。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		・児童発達支援管理責任者がS-M社会生活能力検査やCOPM等を活用できるように準備をすすめます。またリハビリ専門職によるアセスメントも次年度体系化していきます。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設けられているか	7			・生活指導・創作・地域交流・余暇活動時間の確保に努めております。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	2		・支援開始前に個別支援計画の職員周知に努めています。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2		・活動プログラムの立案を話し合う機会を設けていきます。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1		・活動会議を月に1回設け、運動や学習などバランスよく計画をしています。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	7			・療育課題に応じて個別療育と集団療育が実施されています。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			・勤務シフトがパターンあることや、児童発達支援と放課後等デイサービスを一体的にサービスを提供しているため、朝礼での職員全員集合や十分な時間が取れず伝達にかなりの工夫が必要と思っています。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1		・ふりかえりの時間の確保に努めていきます。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			・毎日経過記録を記載しています。課題発生時は担任と責任者や児童発達支援管理責任者で協議検討しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			・個別支援計画更新時には必ずモニタリングを実施していきます。個別療育におけるリハビリ専門職の関わりによる意見やカンファレンス等での意見交換しながら計画の見直しを図っていきたく思います。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			・会議の課題に応じて最も適した専門職が会議に出席できるようにしています。
	㉑ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		1	・各行政機関や利用児が通園している保育園、幼稚園に生活面のヒアリングや情報共有をおこなっています。
	㉒ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	1	2	・医療的ケアが必要な利用児については、かかりつけ医からの情報提供や緊急時連絡網の作成と掲示をおこなっています。次年度は救急隊への対応、施設内でのコードブルーの活用等の訓練をおこなっています。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	1	2	・同上
	㉔ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	1	・課題発生時は、保育園等に出向き個別支援会議を開催しております。随時の情報共有は、電話連絡でおこなっています。
	㉕ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	1	・移行支援として、小学校や行政機関から依頼があった場合は、入学前に意見交換をおこない情報の共有に努めています。保護者との同意の上で本年度も実施予定です。
	㉖ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	1	・課題発生時は、協力機関からの助言を受ける様に努めていきます。
	㉗ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもも活動する機会があるか	1		6	・同一法人内に保育園が設置されています。年間行事活動計画を次年度から各事業所間で担当者が意見交換して計画を立案し交流をもちながら参加を促しています。また避難、防犯訓練は連携して交流をもちながら実施が予定されています。
	㉘ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	2	2	・今年度は感染症拡大予防に伴う地域の状況を鑑みながら行政機関等からの求めにより参加しています。
保護者への説明責任等	㉙ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・連絡帳で課題が共有できた時は、文書および口頭で対応するように努めています。
	㉚ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	2	4	1	・今年度は実施に至りませんでした。次年度の研修計画に挙げていきたいと思ひます
	㉛ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	1	・契約時および重要事項変更時に説明するように努めております。
	㉜ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		1	・生活指導・創作・地域交流・余暇活動時間の確保に努めておりますが、児童発達支援計画に十分に反映するには課題を感じる時もあります。次年度では地域の状況を鑑みながら地域交流に呼応する支援計画立案に努めていきたいと思ひます。
	㉝ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			・毎週月曜日療育相談を開催しています。今後は、新規相談会の開催に加え、現在の登録児童の保護者の方へのお知らせや相談対応者の時間の確保に努めていきたいと思ひます。
	㉞ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	3	・次年度は、小集団での保護者会の開催やライブステージに沿った保護者連携支援を検討していきたいと思ひます。
	㉟ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		1	・毎週月曜日の午後を相談会として時間確保しています。相談内容に応じて専門職の面談対応に努めています。現状では、管理者、児童発達支援管理責任者もしくは作業療法士が対応いたします。
	㊱ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	1	・月に1回は、児童発達支援事業所のお知らせを発行しています。
	㊲ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	7			・事業所利用開始時に個人情報取り扱いの同意書を作成し、それに沿った運用をおこなっています。発信前のダブルチェックの仕組みを作ります。
	㊳ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1		・出来るだけ個別にて情報を伝達しています。必要性に応じて視覚支援や文書での疎通を図るように努めています。
非常時等の対応	㊴ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	2	・放課後等デイサービスの長期休みに地域ボランティアの協力を得ての事業所内活動が予定していましたが、実行できていません。次年度では、屋外や感染予防に努めた地域交流を計画いたします。
	㊵ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		1	・各マニュアルは事業所内で設置されていますが、保護者への周知は次年度の保護者会でおこなう予定です。
	㊶ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	1	・次年度は他事業所と合同の最低年3回避難訓練と防犯訓練が予定されています。また今年度同様に紙芝居等を通じて毎月楽しく学べる訓練を実施していきます。
	㊷ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7			・利用開始前に情報収集をおこなっています。状況に応じて看護師が対応することもあります。
	㊸ 食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	6	1		・おやつ提供については、利用開始前にアレルギーについての文書での聞き取りを保護者に対しておこなっています。医師との連携については給食においてのみ(児童発達支援)主治医師より情報提供書を作成、連携していただき事業所協力医師が法人内管理栄養士(厨房)に指示を出しております。
	㊹ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			・事故対策委員会が年度末に事例の集計・分析をおこなっています。委員会での報告事項を事業所で共有することになっています。
	㊺ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2	1	・虐待防止研修は年に2回は必ず事業所の定期的な研修として実施しています。
㊻ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	2		・やむを得ず身体拘束をおこなう場合は、管理者はその必要性について法人内の医療安全委員会にて申し、協議をおこなっています。その結果、個別で保護者面談をおこない方針を説明をし、同意をいただきます。	